福井県・浙江省経済交流促進機構 設立25周年記念訪問 報告

中国浙江省とのさらなる連携深化を図る

福井県と浙江省の経済分野における交流促進を目的に設立された「福井県・浙江省経済交流促進機構（事務局：福井県商工会議所連合会）」が来年設立25周年の節目を迎えるため、川田主席代表をはじめとする県内企業経営者が、この度浙江省杭州市を訪問した。

日　程：7月16日～19日
視察地：浙江省杭州市、平湖市
参加者：川田達男主席代表はじめ県内企業経営者等30名
事業内容：福井県・浙江省友好提携及び同経済交流促進機構設立25周年記念祝賀会／両省県青年経済団体交流会／日本電産テクノモータ平湖工場視察

若手経営者同士の交流を拡大

福井県・浙江省友好提携および福井県・浙江省経済交流促進機構設立25周年を記念し、両省県の行政及び経済界の代表団による祝賀会が催された。経済界としては、川田主席代表と福井県経済団体連合会各団体長に加え、次代の交流を担う若手経営者として福井商工会議所青年部役員も出席した。

また、当所青年部は今回の訪中に合わせ、浙江省で活動する青年経済団体である「浙江省新生代企業家連誼会」とも懇談を行い、青年経済団体同士の継続的な交流を協議した。

車書記、袁省長との懇談

省内最大級の工場を視察

浙江省平湖市にある浙江・平湖経済技術開発区には、日本電産㈱のグループ企業13社が拠点を構えており、開発区全体の売上のうち日本電産グループが約3割を占める。今回、福井県小浜市に本社を有する日本電産テクノモータ㈱の平湖工場を視察し、事業概要等を伺った。当社は空調用DCファンモータのシェア世界No1であり、平湖工場では空調用モータのほか、家電や産業用モータを製造している。従業員の安定確保が恒常的な課題であり、人材不足解消に向けて内製化したロボットアームを製造ラインに組み込むほか、生産稼働状況をデータ管理し改善を図るなど、省力化と生産性向上に取り組んでいた。

空調、家電用など各種モータを見学

訪中を終えて

福井県と浙江省との経済交流も四半世紀を迎え、中国経済の巨大化により提携当初の経済的プレゼンスも変わってきた。スタート時の工場誘致政策から様変わりし、いま浙江省政府が志向するのは米国を席巻するITやロボティクスを前面に出した新産業政策だ。人口5600万人（中国国内第10位）、GDP5兆2000億元（同第4位）の浙江省との経済交流は第二ステージを迎えるが、本友好提携を活かした新たな取り組みをさらに進めていきたい。

（地域事業課　藤原卓也）